

始めよう！コミュニティ・スクール～地域とともにある学校を目指して

NO. 3

CS 豆知識

【先進地視察 上土幌町教育委員会】

【地域学校協働活動とコミュニティ・スクール】

9月の浦幌町視察に続き、同じく先進地である上土幌町教育委員会へ行ってきました。

上土幌町は、『上土幌町子ども教育ビジョン』を策定し、子育て・教育の充実によるまちづくりに取り組んでいます。CSは、それを具現化するための手段の一つとして、『幼児から中学生まで一貫性のある教育づくり』『地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくり』を理念に、今年度から導入されました。上土幌町は教育に関わる人材が豊かで、小学校には音楽、体育のTT教諭、地域連携の専任コーディネーターが配置されています。

また、学校のニーズに応えるための『ゆめ育応援団』があり、35の企業、団体や地域住民が登録し、学校とともに教育活動に取り組んでいます。

上土幌町の『ゆめ育応援団』のように、地域と学校の連携・協働のもと、幅広い地域住民等が参画し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動のことを『地域学校協働活動』と呼んでいます。

学校の体験学習、ボランティア活動、郷土学習、環境整備など、学校と協働して教育活動を支えていく『地域学校協働活動』は『学校運営協議会』との両輪でCSを盛り上げていくものになります。

厚真町でも、すでに『学校支援地域本部』として、環境整備、読み聞かせ、合唱などの学習活動に、たくさんの地域の皆さんに参画していただいています。

ノーゲームデー定着に向けて 向上運動 推進中！

児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動の今年度の重点項目として、今年6月から、児童生徒の「ノーゲームデー」の取組が始まりました。ノーゲームデーとは、「毎月、第1、第3日曜日に大人も子どももゲームをお休みして、家族の団らんを大切に、体験活動や読書活動に親しみましょう。」というものです。

子ども教育委員会の小学校のアウトメディア宣言では「『メディアをやめられない病』に負けないで、先に勉強するルールを作ろう！」とあります。

ノーゲームに成功した割合はまだまだ低いと言えますが、回を追うごとに成功率が伸びています。一人でも多くの子どもたちが「ノーゲームデー」に挑戦し、「ゲームをしない日」を体験してほしいものです。

町内小学生（229人）のノーゲームデーの取組の様子

小学生	ノーゲームに挑戦	ノーゲームに成功	成功率 (小学生全体に対する)
6・7月	89人	53人	23%
8・9月	84人	53人	24%
10月	105人	62人	29%

町内中学生（99人）のノーゲームデーの取組の様子

中学生	ノーゲームに挑戦	ノーゲームに成功	成功率 (中学生全体に対する)
6・7月	44人	21人	21%
8・9月	67人	26人	26%
10月	86人	38人	38%



小学生・中学生ともに成功率が上昇中です！